

第73回クラス幹事会

開催日時：平成30年10月13日（土） 15:30
～18:00

場所：横国大 海洋棟3階 302室
（製図室横）

出席者：講演講師、事務局含め22名

珠久会長の開催挨拶に続きミニ講演会、事務局報告、自由討議を実施。

1. ミニ講演「船体折損100年の歴史」

講演者：角 洋一氏

（横浜国立大学名誉教授、昭和46年卒）

講演概要：船体折損事故は、科学技術の十分発達した現代でもなぜ起きるのだろうか？をテーマに、過去約100年間に起こった主要な鋼船の折損事故とその損傷原因や事故当時の時代背景などを、船体構造技術発展の歴史とともにご講演いただいた。特に、大型コンテナ船の折損沈没事故など、現在直面している問題への解決には、船舶大型化を十分考慮した設計対応が不可欠であるとの指摘があった。時間的な制約で、事故調査の進め方や事故発生以降の国際的な規則改訂への動きなどは十分なご紹介がいただけなかったため、次の機会にご講演を継続して頂きたいとの要望が多かった。

講演の動画（限定公開）：

https://youtu.be/j_j3DxSQm_o



2. 事務局報告

- 校友会、名教自然会の活動…珠久会長
名教自然会から要請のあった平成30年度プラウド卒業生について昭和28年卒業の鳥養鶴雄氏を推薦することで調整中であるとの報告があった。
- 教室の今とこれから…川村教授
- 会の内規の変更…入江理事
7月27日付で改訂された弘陵造船航空会内規の変更内容の骨子について紹介があった。
- 地方会員との交流促進活動…珠久会長
今年度から開始した地方会員との交流として、8月28日に丸亀地区で実施した成果について報告があった。今後も継続的に実施していく予定。
- 会員名簿の電子化作業…中島アドバイザー
従来、製本していた会員名簿を電子化して会のHPでPDFファイルとして閲覧できる様にする作業の進捗状況について説明があった。情報セキュリティの観点からダウンロード・印刷はできない仕様としている。会員への公開は12月のHP更新時の予定。
- 奨学金、海外渡航補助…小林理事
平成30年度の奨学金、海外渡航補助に対する申請受け付け状況と方針について報告があった。
- 教室創立90周年（2019年）に向けて…珠久会長
教室創立100周年（2029年）に向けて、90周年となる2019年から向こう10年間に実施する記念事業への取組みについて提案があった。
- 同窓会活動に対するクラス幹事へのアンケート調査結果…佐伯理事
今回のクラス幹事会開催案内にあわせて実施した、クラス幹事への卒業年次毎の活動状況に関するアンケート調査結果の報告があった。

2. 自由討議

- アンケート調査結果について
1981～1985年卒からのアンケート回答の提出

が少なかった理由として、非造船系企業への就職が多かった、企業における中堅世代、子育て世代であるため多忙、などの意見があった。

- メルマガについて

毎月発行されるメルマガは同期生への定期的な連絡手段の確認に活用されている。

メルマガに事務局の生の活動状況を掲載すると興味が増すのではないかな。

- 地域交流会について

次回の地域後流会は、自動車産業が集積している名古屋地区での開催を推す提案があった。

- 会報について

会報の定番企画である勤続年数別の回顧録について、特に 10 年目、25 年目の記事は執筆者探しに苦労している。

- 同窓会活動全般について

クラス会活動は活発だが同窓会活動は遠慮する人が多い。

同窓会も面白い企画が前面に出せれば出席者も増えると考えられる。

大学が実施するポスターセッションや模型船のコンクールに応援の形で同窓会が入れないか（大学の行事は基本的に平日であるので、同窓会の参加には無理がある）。

若手 OB が同窓会活動に無関心になっている点は座視せず働きかけを続ける必要がある。例えば、伝えたいトピックスを明確化する、若手主体で企画づくりを行う、例として毎年の交流会など。

異世代や他の大学 OB との交流など若手でも同窓会活動に興味を持てる企画をする。

若い人のニーズ、意見を吸い上げるシステムづくりを行う。

第 73 回クラス幹事会会場

